徳島支部　第 21 回　総会・懇親会開催報告

○　開催日時　平成 25 年８月１４日（水）
　　１４：３０～１７：２０



野村支部長の歓迎挨拶に続き、校友会本部より山田副会長より、支部活動を激励するご挨拶をいただき、松田学長からは京都外大のブレンド力アップに向けた、力強いリーダーシップ宣言をいただきました。

長者事務局長の乾杯のご発声からは、ハワイアンバンドとラテンバンドをバックに３５人の参加者は、懐かしい母校の思い出話に時を忘れました。女性合唱団、男声合唱団の登場はサプライズ企画で、登場者も初耳であったにも関わらず、結構のっていたようです。









後半には、阿波踊りの藝茶楽連が会場に躍り込み、懇親会も最高潮。福田連長のユーモラスな巧みな御指導で、会場の皆さんが輪になって踊り始めました。三味線のゾメキ節についつい乗せられ、誰しもが「踊る阿呆に、見る阿呆」でありました。

梶本前支部長の万歳でお開きとなり、総会前に撮った記念写真を手に、懇親会は解散となりました。いよいよ荷物を整理して、街頭踊りへと出発です。





京都外国語大学校友会 徳島支部 第21回 総会懇親会 2013.8.14

○　さて、演舞場での阿波踊り（藝茶楽連員４０人、京都外大連２４人）

藍場浜演舞場　１８：３０～１８：５０

市役所演舞場　１９：４５～２０：０５









藝茶楽連の男性が交通案内、誘導を丁寧にしてくださり、初参加のメンバーも迷わずに、踊り一色の徳島市内を遊覧することができました。しかし、演舞場は両サイドを桟敷席に囲まれ１０００人ほどの観客が見ていたので、何とも嬉しいやら恥ずかしいやらの２０分でした。松田学長御夫妻は、その桟敷席から京都外大連だけでなく、2時間ほどの間、生まれて初めての阿波踊りをご堪能見されたようです。あでやかな女踊りと、勇壮な男踊りの個人技と、その集団が創り出す美しさは何者にも例えようのない、こころから震える感動を与えてくれました。

○　例年阿波踊りは８月１２日～１５日の４日間開催されます。今年の人出は １ 日目が３５万人、２日目と３日目が３０万人、４日目は２８万人で合計１２３万人でした。御参加の皆様、本当にありがとうございました。

京都外大校友会徳島支部長　野村　誠也